

# 気仙沼岩井崎潮吹き岩について

5 2 0 1 M

## 1テーマ設定の理由

気仙沼には、岩井崎という所があります。その岩井崎には、潮吹き岩という観光スポットがあります。私はその潮吹き岩について研究します。震災前は見れた潮吹き岩だけど、震災後はまだ1回だけしか見れていません。震災前に潮吹き岩を見たけれど、その頃はまだ小さかったのであまり記憶に残っていません。それにあまり詳しく潮吹き岩について知ることができていなかったの『これはいいチャンスだ』と思ったので、私はこのテーマに設定しました。

## 2研究内容

### 【1】 岩井崎という名称について



岩井崎は昔、地獄の剣の山に例えられ、『地獄崎』という名称でしたが、1723年に伊達吉村公が訪れた時、縁起が悪いということで、『祝崎』という名称になってから、『岩井崎』となったそうです。岩井崎はとて昔からあったんですね。それに『地獄崎』という名称だったなんて驚きですね。

### 【2】 潮が吹いているときの潮吹き岩について

右の写真は、潮が吹いているときの潮吹き岩の様子です。

写真に写っている潮吹き岩からは、あまり高く潮が吹いていません。高く潮が吹くときは、10 m以上も高く吹くことがあります。



### 【3】潮が全く吹いていないときの潮吹き岩について



【2】の写真に写っている潮吹き岩からは、潮が吹いています。けれども、この左の写真に写っている潮吹き岩からは、潮が全く吹いていません。どうしてこんなに違いがあるのでしょうか。潮が吹いているときと、潮が吹いていないときでは、何か海と関係があるのでしょうか。

### 【4】潮吹き岩から潮が吹く仕組み

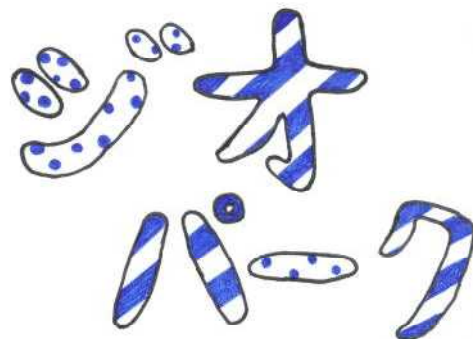
潮吹き岩から潮が吹くのは、海が荒れているときです。【2】の写真に写っている潮吹き岩からは、少し潮が吹いています。

ということは、海はあまり荒れていないということになります。一方で、【3】の写真に写っている潮吹き岩からは、全く潮が吹いていません。海はとてもおだやかだということになります。海がすごく荒れている日に限って潮が10m以上も高く吹くということになります。潮が吹いているときと、潮が吹いていないときでは、海の荒れ具合と関係があったんですね。水温などが関係しているのかなと思っていました。しかし、その予想とは全く違うことが関係していて驚きました。

### 【5】潮吹き岩は天然記念物などに登録されているの？

潮吹き岩は記念物などに登録されていませんが、潮吹き岩がある岩井崎は『ジオパーク』に登録されています。

ジオパークとは、特別に貴重なもの、あるいは美しい地質遺産がある一種の自然公園です。その他にも、気仙沼には唐桑町にある『大理石海岸』や、『巨釜・半造』（おがま・はんぞう）などといったジオパークに登録されて



る観光スポットがあります。

それから、岩井崎の化石が、宮城県の天然記念物に登録されています。岩井崎には、約2億5千年前に海に住んでいた数十種類(サンゴ類・2枚貝・アンモナイトなど)の生物の化石があります。地層の下の方から、ウミユリ・サンゴ・フズリナなどが生息していました。しかし、次第に海底が浅くなっていき、他の生物が多くなっていき、約2億5千年前に海に住んでいた生物が、化石になったと考えることができます。

## 【6】宮城県の天然記念物に登録されている化石について



この化石は、『わん足類』の化石です。貝によく似た化石です。この化石を割ると、わん足類の化石がたくさん見つかります。



この化石は、『わん足類レプトダス』の化石です。この化石は、まるで、魚の骨のような形をしています。この化石は、気仙沼の名物の化石です。



この化石は、『三葉虫』の化石です。この三葉虫は海にいた動物です。体がバラバラの状態で見つかることが多いので、バラバラではない状態で見つかったら、



この化石は『ウミユリ』の化石です。この化石はヒトデの仲間です。岩井崎でたくさん見ることができます。この化石の中には穴が空いています。50円玉を並べたような状態になっています。

大発見です！



この化石は、『コケムシ』の化石です。細かなポツポツがたくさん並んでいます。1つ1つが生き物です。



この化石は、『フズリナ』の化石です。形が松葉と似ていることからマツバイシという名前がつけました。気仙沼の名物の化石です。石にたくさんの穴が空いています。

### 3 今後の課題

岩井崎の今後の課題は、『風評被害が広まるのを防ぐ』です。

2011年3月11日に、東日本大震災が起きました。大きな地震の後、大きな津波が気仙沼の町と多くの人々をおそいました。岩井崎も大きな津波におそわれた気仙沼の町の1つです。

岩井崎は大きな津波におそわれてしまったので、多くの人々に『岩井崎は、危ない！』と思われてしまっています。

そんな風評被害がもっと広がらないように、岩井崎観光協会のみなさんは岩井崎に来た観光客のみなさんを、津波におそわれていない岩井崎の神社、琴平神社（ことひらじんじゃ）へ誘導したり、『天旗祭り』などを開催し、『岩井崎にはちゃんと安全な場所があるんだ。』と再確認してもらい、更に『竜の松』をきれいな松にして保存し、たくさんの人々に観光に来てもらい、きれいな『竜の松』を見てもらって、人から人へと風評被害が広まるのを防いでいるんだそうです。

### 4 研究のまとめ

今回の研究で、潮吹き岩の歴史や潮吹き岩から潮が吹く仕組みなど、様々なことが分かりました。

岩井崎は昔、『地獄崎』でしたが、1723年に『祝崎』という名称に

なりました。1723年に2つめの名称の『祝崎』となったということは、1723年でも十分昔ですが、それよりも前から岩井崎があったということになります。

2つめの名称『祝崎』になってから、今(2015年)まで約390年がたっているので、『地獄崎』という名称だった頃から今までだと、390年以上たっています。岩井崎にはとても長い歴史があるということが分かりました。

たくさんの年月を経て、立派な岩井崎があるんだと思いました。気仙沼には、岩井崎の潮吹き岩の他にも、たくさんの観光スポットがあります。どの観光スポットもとてもきれいです。もし、気仙沼に来る機会があれば、岩井崎の潮吹き岩を含めた観光スポットを観光してみてください。気仙沼に来るのが初めての人でもきっと楽しんでいただけたと思います。もし、時間があれば、おいしい気仙沼の食べ物も食べてみてください。たくさん食べたくなること間違いなし!! 思い出に残る楽しい気仙沼の観光になると思います。ぜひ気仙沼に来てみてください。

## 注意

岩井崎の化石は、採集することはできません。

このようなマナーを守り、気仙沼の観光を楽しんでください。

## ぜひ

## 楽しい気仙沼に

## 遊びに来てください!

～待っています～